

新研修制度

フォローアップ研修ネット配信の導入



フォローアップ研修ネット配信

二〇二一年四月一日より、当社ではサービス全拠点にて、オンラインでの研修が受講できるようになりました。現在、約七〇〇名の現場の介護スタッフが研修を受けています。

コロナ禍以前、当社ではサービス品質の維持・向上のため毎年十七項目の研修を毎月拠点で行っていました。しかし、昨年来、新型コロナウイルスによる影響でスタッフが集まる集合研修の開催が難しい状況になりました。これまでの研修をスタッフにどう受けてもらうかが課題となっていました。

そこで、今年度より導入したのが、「フォローアップ研修ネット配信」です。文字どおり動画の研修をネットで見ることができます。これを導入したことにより、集合研修を行わずに、スマートフォンやタブレット、パソコンでの在宅で、研修参加ができるようになりました。

導入のメリット

今回ご協力頂いたのが、お茶の水ケアサービス学院のフォローアップ研修ネット配信システムです。法定研修はもちろん介護現場に必要な項目はすべて網羅されており、虐待防止・身体拘束・感染症・事故防止・法令遵守・認知症対応・災害時対応・プライバシー保護等、研修内容が充実しています。

**フォローアップ研修
ネット配信**

日本健康医学会賛助会員
お茶の水ケアサービス学院

研修内容

記録	計画	アセスメント
待遇、クレーム	業務改善、モチベーション	待遇、クレーム
コミュニケーション	終末期対応	レクリエーション
生活相談員スキルアップ	虐待防止	実地調査(指導)対応
移乗、移動	認知症	チームワーク
排泄支援、入浴介助	メンタル系	リーダー、コーチング
褥瘡予防、拘束予防	医療連携、疾患別	感染症、食中毒
食事介助、摂食、嚥下	サービス別	緊急事、災害時対応
姿勢保持、転倒予防	リスクマネジメント	福祉用具、ロボット

法定研修全て配信中・情報公表制度も完全対応突然の実地調査や監査にも即対応可能!

- ・虐待防止
- ・身体拘束
- ・感染症
- ・事故防止
- ・法令遵守
- ・認知症
- ・災害時対応
- ・プライバシー保護 等

<https://www.o-careservice.com/movie.html>

◆導入のメリット

- いつでもどこでも何度でも研修を受けられる
- 研修担当者の準備時間を削減できる
- スタッフの知識・技術の底上げが期待できる

最大のメリットは、多忙な現場でもスタッフ全員が受講でき、知識や技術の底上げが期待できます。入社したばかりのスタッフも速やかに知識の習得をスタートすることができます。自信をもつて業務に当たることで、サービス品質の維持・向上を実現することができます。

バージョンの九十分」というように、研修時間が細かく設定されています。現場で働いているスタッフが受講出来るよう工夫されており、これは大変有難いと感じています。

導入メリットは他にもあります。それは、研修担当者の負担軽減です。今まで各拠点で研修内容を考え、資料を作成していました。フォローアップ研修ネット配信を利用するこにより、資料作成等の時間も必要がなくなり、研修内容も統一することが可能になり、どのホームでも標準化した研修を開催できるようになりました。

今後の運用

導入を開始してから数ヶ月経ったところでアンケートを実施し、拠点での反応や意見を収集しました。導入メリットの実感は概ねありますが、一方で時間の管理、理解度の把握の難しさ、視聴環境(デバイス)の整備などの問題が抽出でき、今後の課題として取り組んでまいります。

に役立てています。このような記録はお客様が抱える問題の分析に役立つことがあります。「食事量が落ちているが、パンは完食されている」それならば「パンの提供機会を増やして食事量をキープしよう」など解決の糸口になることもあります。

この記録管理機能を電子化したスマートフォンを使ったクラウドシステム「Care-wing(ケア・ウイング)」を順次導入しています。スタッフは、スマートフォンで一日の予定やサービス内容を確認し、実施したサービスを画面のタッチや音声入力で簡単に報告できます。管理者やサービス提供責任者は、スタッフが行った報告(実施時刻、ケ



タルの活用を始め、折しも新型コロナウイルスの影響でオンライン面会や見学、会議等、デジタル化に対応することが急務となりました。今後はスタッフへの浸透とともに、ケアの質の向上、事務作業の軽減、ストレス軽減、科学的介護の実現によって生産性を向上させ、コミュニケーション活性化、お客様に寄り添う時間の確保、存分にサービスできる環境づくりを行い、スタッフの満足度を上げていきたいと考えています。

わが社のDX

Digital Transformation
取り組み



デジタル活用プロジェクト

話はさかのぼりますが、二〇二〇年の期初にたてた方針「既存事業の大化とデジタル(※ICT)活用でサービス現場の生産性向上を目指す」を推進してまいりました。この方針のもと、デジタル活用プロジェクトを発足し、ミーティングを繰り返し、全体の機器製品で約五〇社、製品の説明を受け選定、折衝を行ってきました。この中で日々の業務に関わる介護記録の電子化について

導入検討中の製品・システム	
介護記録システム	
シフト作成・勤怠管理	
腰痛対策・マッスルスーツ	
睡眠状況や転倒防止	
心拍数などを測定	

お話しします。
※Information and Communication Technology (情報通信技術)

介護サービスは、お客様それぞれのケアプランに沿って提供されます。介護現場では記録の作成も毎日の仕事の一つです。また介護記録は適切なサービスや対応に欠かせないスタッフ同士の情報共有やお客様の体調管理機能を果たします。例えば、「熱があるご様子なので気における」「トイレ間隔が開いているので、失敗しないよう声掛けをする」など、重要なことはもちろん、些細なことまで情報を共有し、サービス向上

介護記録の電子化

デジタル活用プロジェクト

